

生き残らなければ何も始まらない



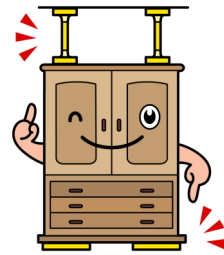
体験型 市民減災 災害対応訓練

私たちが取り組む「減災活動」の目標は・・・

死なない・ケガをしない・火を出さない

① 地震の前に安全空間作り

生き残れますか？
怪我をしませんか？
ガラスに飛散防止をしていますか？



② 出す

「排泄（うんこ）」のことです・・・
水が止まると・・・トイレは×
その時、大丈夫ですか？

③ 飲む

飲用水→1日一人3リットル
+生活水は？



④ 食う

米・ミルク…大丈夫？
アレルギー対策は？
熱源は？



本物の「火炎」を使った消火体験もできるよ

災害を想定したリアルな体験型の訓練です。

ぜひ、家族や近所の方と一緒に参加してください。

日時：令和元年9月28日（土曜日）9：30から13：00 まで（災害食付き）

場所 座間市役所 ふれあい広場・市役所アトリウム

参加費：無 料 小雨催行・荒天中止対応は裏面参照

持ち物：帽子・手袋・タオル・飲料水

受付は
9:15から



令和元年度 協働事業です。
裏も見てね

情報の確保

灯りは？ 電気は？



使えます

応急手当

移送・身近なもの
での手当



この体験型の訓練は、近い将来「都心南部直下地震」の発生想定されている被害を少しでも少なくする「事前防災のわざ」と、生き残った「いのち」を守り、「生き抜くわざ」を自らが体験する訓練です。ここで学び、身に着けた「わざ」を地域の、平時の「減災活動」や「防災訓練」に活かしてください。

体験型訓練参加申込書

FAX : 046-252-7773 危機管理課

氏名	年齢	電話番号	団体・町名

食材や資機材の準備の関係で、**9月25日(水)までに**この用紙に所定事項を記入してFAXまたは、メールでお申し込みください。(いただいた個人情報は**危機管理課**が取り扱いこの訓練以外には使用しません)

《会場案内図》



小田急線相武台前駅下車 徒歩約15分

体験科目(予定)

- ① 非常用炊出し袋による炊飯(必須)
- ② 減災の基本 家具固定・ガラス飛散防止体験
- ③ 災害時の家庭用トイレの使い方体験
- ④ 水の運搬・備蓄対応体験
- ⑤ ブルーシートの活用法(三角テントとロープの使い方)
- ⑥ 発電機の操作と太陽光蓄電システムの展示と活用解説
- ⑦ 身近なものを使った応急手当・傷病者搬送体験
- ⑧ **消火機材操作(投てきパック)・バケツリレー体験(全員)**
- ⑨ 災害食の配食と食べ方

電話申し込みOKです。

【問い合わせ先】 座間市危機管理課 電話:046-252-7395

FAX : 046-252-7773

または、

ざま災害ボランティアネットワーク

E-MAIL : zsvn_info@yahoo.co.jp

荒天時中止確認は市役所代表電話:046-255-1111で確認願います。